

日々の祈り

2021年2月22日(月)~27日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・受難節(レント)を過ごしています。わたしたちの救いのために、イエスさまが苦難と十字架を負って下さったことを覚え、悔い改めと感謝の時を過ごすことが出来るように。
- ・困難や孤独の中にある人々に、慰めと平安があるように。
- ・兄弟姉妹の信仰生活が守られるように。

22日(月)

ルカによる福音書 12章 15節

そして、一同に言われた。「どんな貪欲にも注意を払い、用心なさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである。」

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。わたしたちの命は何によって支えられているか、わたしたちの命にとって何が本当の喜びかを知りましょう。わたしたちの命は、喜びは、豊かさは、神さまの中にこそあります。だから、この神さまを知り、この神さまとの交わりに与っているわたしたちは、神さまに与えられ、生かされている命を、今日一日というこの日を、感謝して、大切に、精一杯、神さまに向かって生きることが出来るのです。

23日(火)

テモテへの手紙一 6章 17節

この世で富んでいる人々に命じなさい。高慢にならず、不確かな富に望みを置くのではなく、わたしたちにすべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。

富とは、わたしたちが頼ろうとするすべてのもの、自分の心を自分で慰め、安心させ、喜ばせるために、この世で求めようとするすべてのものです。それを多く持っている人は、自分で自分を安心させるので、神さまに依り頼むことはありません。しかし、わたしたちが自分で手にするものは、すべて不確かなものだ、と教えられています。確かなものは神さまにしかありません。神さまは、わたしたちにすべてのものを豊かに与えて、楽しませて下さるお方です。わたしたちは、この方にのみ望みを置くように、とされています。

24日(水)

詩編 39 編 7 節

ああ、人はただ影のように移ろうもの。ああ、人は空しくあくせくし／だれの手に渡るとも知らずに積み上げる。

主よ、それなら／何に望みをかけたらよいのでしょうか。わたしはあなたを待ち望みます。

わたしたちは、人生をはかないもの、むなしいもの、と感ずることがあるかも知れません。労苦が報われないことがあります。昨日あったものが、今日は無いということがあります。大切なものを失うこと、弱さ、無力さを覚えることがあります。だからこそ、詩人は主を呼び、言うのです。「わたしはあなたを待ち望みます。」わたしたちの望みは、どのような時も、どのような状況でも、ただ主のみあるのです。

25日(木)

申命記 32 章 39 節

しかし見よ、わたしこそ、わたしこそそれである。わたしのほかに神はない。わたしは殺し、また生かす。わたしは傷つけ、またいやす。わが手を逃れうる者は、一人もない。

神さまが恐れるべきお方であることは、間違いありません。神さまはわたしたちの命を創造し、支配しておられ、殺し、生かし、傷つけ、いやすことがお出来になります。しかしわたしたちは、神さまに滅ぼされることを恐れてビクビクする必要はありません。神さまは意地悪をしたり、命をもてあそぶお方ではありません。殺し、生かし、傷つけ、いやすことが出来るお方は、わたしたちが神さまと共に生きる者となるために、ご自分の愛する御子イエスさまの命さえ、惜しまずわたしたちに与えて下さるお方だからです。

26日(金)

詩編 139 編 1~5 節

主よ、あなたはわたしを究め／わたしを知っておられる。座るのも立つのも知り／遠くからわたしの計らいを悟っておられる。歩くのも伏すのも見分け／わたしの道にことごとく通じておられる。わたしの舌がまだひと言も語らぬさきに／主よ、あなたはすべてを知っておられる。前からも後ろからもわたしを囲み／御手をわたしの上に置いてくださる。

次の主日礼拝の御言葉です。主がわたしをどれほど見つめておられるか。主がわたしをどれほど知っておられるか。主がわたしをどれだけ慈しみ、憐れみ、愛して下さるお方かを知りましょう。この方が常に、わたしを前からも後ろからも囲み、御手をわたしの上に置いてくださいます。

27日(土)

ルカによる福音書 12 章 22 節

それから、イエスは弟子たちに言われた。「だから、言っておく。命のことで何を食べようか、体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。」

明日の主日礼拝の御言葉です。イエスさまは、「思い悩むな」とお命じになります。わたしたちには、生きるための多くの悩みごと、心配ごと、思い煩いがあります。しかし、わたしたちの生活や命の根底には、わたしたちを愛し、憐れみ、いつも生きて働いて下さる神さまがおられます。この神さまの御手に支えられていることを知っているならば、わたしたちは安心して、与えられた日を、与えられた命で、喜んで、大切に、歩むことが出来るのです。

聖句：日本聖書協会『聖書 新共同訳』